

ネパール大地震被災女性・少女支援緊急募金 2,361,149円(2015年8月末現在)

UN Womenを通じ、被災女性・少女に届けました。ご協力ありがとうございました。

2015年4月25日、M7.8の大地震がネパールを襲いました。死者は約9,000人、そのうちの半数以上が女性・少女です。90万軒を超える家屋が全半壊し、800万人の被災者のうち、320万人が女性と子どもでした。多くの人々がテント暮らしで、家族を失った女性・少女たちは災害後に暴力や人身売買の危険にさらされているとの報道もあります。UN Womenは、ただちに世界中に募金を呼びかけ、パートナー団体とともに、被災女性の尊厳を守る日常必需品キット(下着、生理用品、傘、石鹸など16品目)、安全を確保し煮炊きにも使えるランプ、正確な情報を得るためのラジオを、精力的に配布しました。特に被害のひどかった7地域で8月までに6,000個以上を女性たちに手渡し、大変喜ばれました。



写真：UN Women / Samir Jung Thapa



写真：UN Women / Piyavit Hongsa



大地震直後のコカナ村(カトマンズ郊外)でのテント暮らし
写真：UN Women / Vlad Sokhin

UN Women ネパール事務所の取組

ネパール事務所はネパール政府女性・子ども省、女性関連団体等の協力のもと、多目的女性センターを5地域に開設。日常必需品キット、ランプ、ラジオの配布とともに、家庭内暴力や性暴力被害者へのカウンセリングやリハビリテーションに取り組んでいます。そのほか情報センターを3地域に設置し、シングルマザーや高齢女性、障害のある女性たちに支援が行き届くよう、精力的な活動を続けています。

ネパール事務所の代表、ジアド・シェイクンさんから、8月8日、日本からの募金に深く感謝しているとの御礼の言葉が届きました。



社会心理カウンセラー(左)によるグループ・カウンセリング風景
写真：UN Women / Samir Jung Thapa

ネパール支援への思い

全国地域婦人団体連絡協議会

会長 柿沼トミ子

ネパール大地震が発生してから、既に5ヶ月を迎えます。現地の惨状には胸を痛めておりますが、復興状況はいかがでしょうか。

全地婦連はこれまでも、海外の自然災害に対し、会員の熱い思いを募金の形で支援してまいりました。この度のネパール大地震でも、全国の会員から「支援・募金」について問い合わせがあり、全地婦連の総意として支援・募金を決定しました。会員の思いは支援・募金が直接の活動に活かされることであり、その意味でも貴国連ウィメン日本協会及びUN Womenの活動は、被災女性少女のために、目的が明確であることから、募金先として決定させていただき、全地婦連400万人の会員の思いが届けられていると確信しています。

復興には長い時間がかかります。日本の女性達がネパールの女性少女を応援していることを伝えていただきたいと思います。

* 柿沼氏は国連ウィメン日本協会の評議委員です



有馬理事長に募金を手渡す柿沼会長(右)

注：ネパール募金にご協力いただいた方々のお名前は、3ページに掲載

国連ウィメン日本協会 2014年度 支援プロジェクト報告

皆様からのご協力で、国連ウィメン日本協会の2014年度UN Womenへの拠出金総額は3,689,672円 (USD 30,551.23)となり、以下の二つのプロジェクトに拠出しました。

①カンボジア竹細工プロジェクト： 2,689,672円(22,271.03ドル)

「カンボジアの農村で持続可能な生計の選択肢を広げ、女性の経済的エンパワーメントを向上させる」

メコン川流域は良質な竹の産地として有名です。農村女性が竹細工の技術、販売の知識や方法を学び、年間を通して現金収入を得られるよう、UN Womenが中心にプロジェクトを進めてきました。竹細工の生産は

- ・子どもの世話や料理といった家事と両立できる
 - ・米作作業のかたわら行い、米作作業をしない時期にも行えるので重要性が追加される
 - ・竹製品作りには季節性がないので年間を通じた安定した需要と収入が見込める
- 等のメリットがあります。国連ウィメン日本協会は2011年度から継続的に支援しています。

②暴力撤廃信託基金： 1,000,000円(8,280.20ドル) (Trust Fund to End Violence against Women)

世界の女性の3人にひとり、ジェンダーに根ざした暴力の被害者と言われています。国連ウィメン日本協会は、昨年に引き続き、世界各地で、女性と少女に対する暴力根絶のために活動する暴力撤廃信託基金を支援します。暴力撤廃信託基金は、UN Womenが管理と運営を任されており、1996年に日本政府の発案で設立されました。

2014年度、暴力撤廃信託基金は71の国と地域で、95のプロジェクトに総計5630万ドルを支援しました。



現地プロジェクトを訪れて

カンボジア国ジェンダー主流化プロジェクト(フェーズ2)

総括/ジェンダー主流化 山口 綾

2015年3月、コンボンチュナン州の竹細工生産者グループを訪問しました。生産者グループはいくつかありますが、訪問当日は一つのグループの約20名が、グループ共有の作業場で活動を行っていました。

竹細工生産は、この地域でもともと行われていた活動で、地元の原材料を活用しています。グループメンバーは農業も行っていましたが、UN Womenをはじめとした支援により、グループが生産する竹細工のデザインや品質が向上し、今では竹細工生産が主な収入源になりました。カンボジア国内だけではなく、海外からの注文も受けており、多くの注文に納期通りに対応することがグループの課題の一つになっています。

グループメンバーの女性は、竹細工生産により十分な収入を得たことで、自分に自信が持てるようになった、夫との関係性が向上した、子どもを学校に行かせることができるようになった等の変化があった、と嬉しそうに話をしていました。



作業所

カラフルな竹細工。日本のウィメンショップ(国連ウィメン日本協会よこはま運営)でも取り扱っています。



男性も子ども連れも一緒に作業風景



注：山口綾さんは、JICAがカンボジア女性省と実施する、女性の経済的エンパワーメント促進の仕組みづくりに従事。成功事例として同上グループを訪問されました。写真：山口綾

国連ウィメン日本協会ご協力者のご紹介

UN Womenは、女性たちのための国連組織。国連ウィメン日本協会は、UN Womenを支える民間組織。世界中の女性が暴力・差別・貧困のない生活を送れるよう、皆様のご協力をお願いします。ご寄付および会員加入は常時受け付けています。詳しくは国連ウィメン日本協会事務局にお問い合わせください。

インターネット募金の開始

国連ウィメン日本協会は、ウェブサイトから募金できる仕組みをはじめました。月決め寄付もできますので、ぜひご利用ください。
<http://kessai.canpan.info/org/kokurenwomennihon/sustain/101066/>

賛助会員からのメッセージ

実りある活動に期待

株式会社電通総務局社会貢献環境推進部

日下部佳代子

電通グループは、企業理念である「Good Innovation.」のもと、コミュニケーション領域を中核とした事業活動に取り組んでおり、人権の観点は欠くことのできないものになっています。

その立場からも、国連ウィメン日本協会が、日本から世界レベルに至る女性のエンパワーメントを推進されていることに敬意を表します。

女性が持てる力を十分に発揮することが世界的に求められているにも関わらず、多くの国や地域で相変わらず、女性ということだけで、教育が受けられない、不当な搾取の対象になる等が数多く起こるのは不幸なことです。

国連ウィメン日本協会の活動が、この重大な社会課題の解決につながるよう、微力ながら応援していきます。どうか、実りあるものとなりますように！

寄付にご協力いただいた方々

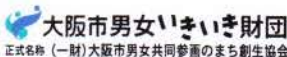




(2014年1月1日～2015年8月31日現在) 順不同

日本GE株式会社	群馬婦人会	河合亮平
国連ウィメン日本協会北九州	タルボットジャパン(株)	嶺山敦久・幸恵
国連ウィメン日本協会東京	宮下保子	三輪敦子
国連ウィメン日本協会大阪	横井千香子	高屋淳彦
国連ウィメン日本協会さくら	池田路子	斎藤京子
国連ウィメン日本協会よこはま	清水厚考	北井久美子
UN women 佐賀	高野久子	豊島香
国連ウィメン日本協会堺	上田恵美	大澤貴子
十文字学園生活協同組合	三浦まり	桜井真由美
全国友の会	岡島敦子	柳瀬満利子
彩歩の会	黒河内久美	竹崎裕子
中央労働金庫営業統括部(貯めCiao!事務局)	宮澤知子	奥田美智代
国際ソロプチミスト京都	稲田和永	鹿野京子
国際ソロプチミストアメリカ日本西リジョン	大西珠枝	高橋克子
ビューティショップK	岩田喜美枝	深津清一
(公財)こうち男女共同参画社会づくり財団	大塚享子	永井多恵子
上里町女性会議	竹本千代子	佐賀奈徳
エイボン・プロダクツ株式会社	金子みどり	
株式会社ソシア	イソノリョウヘイ	
国連ウィメン日本協会多摩	酒井真喜子	
富士ゼロックス株式会社	石橋三洋	
富士ゼロックス端数倶楽部	讚井暢子	
ブックオフコーポレーション(株)	西澤誠太郎	
(株)グッドバンカー	土屋有利子	
(公財)京都市男女共同参画推進協会	湯浅弥太郎	

寄付の形のご紹介

- ◇ 株式会社高島屋お中元お歳暮カタログ寄付
- ◇ タルボットジャパン(株)ボールペン販売寄付
- ◇ ブックオフの中古本・DVD・ゲームソフトによる寄付

正会員19団体 順不同 個人40名

- (公財)アジア女性交流・研究フォーラム
- NPO法人一冊の会
- 群馬婦人会
- 国際婦人年連絡会
- 堺市女性団体協議会
- 全国友の会
- (株)高島屋
- (公財)横浜市男女共同参画推進協会
-  大阪市男女いきいき財団
正式名称 (一財)大阪市男女共同参画のまち創生協会
-  国際ゾンタ26地区
-  (一社)大学女性協会
-  AEON 1% Club Foundation
-  JT
-  セブン&アイ HLDGS.
- 国連ウィメン日本協会堺
- 国連ウィメン日本協会さくら
- 国連ウィメン日本協会多摩
- 国連ウィメン日本協会東京
- 国連ウィメン日本協会よこはま

賛助会員15団体 順不同 個人138名

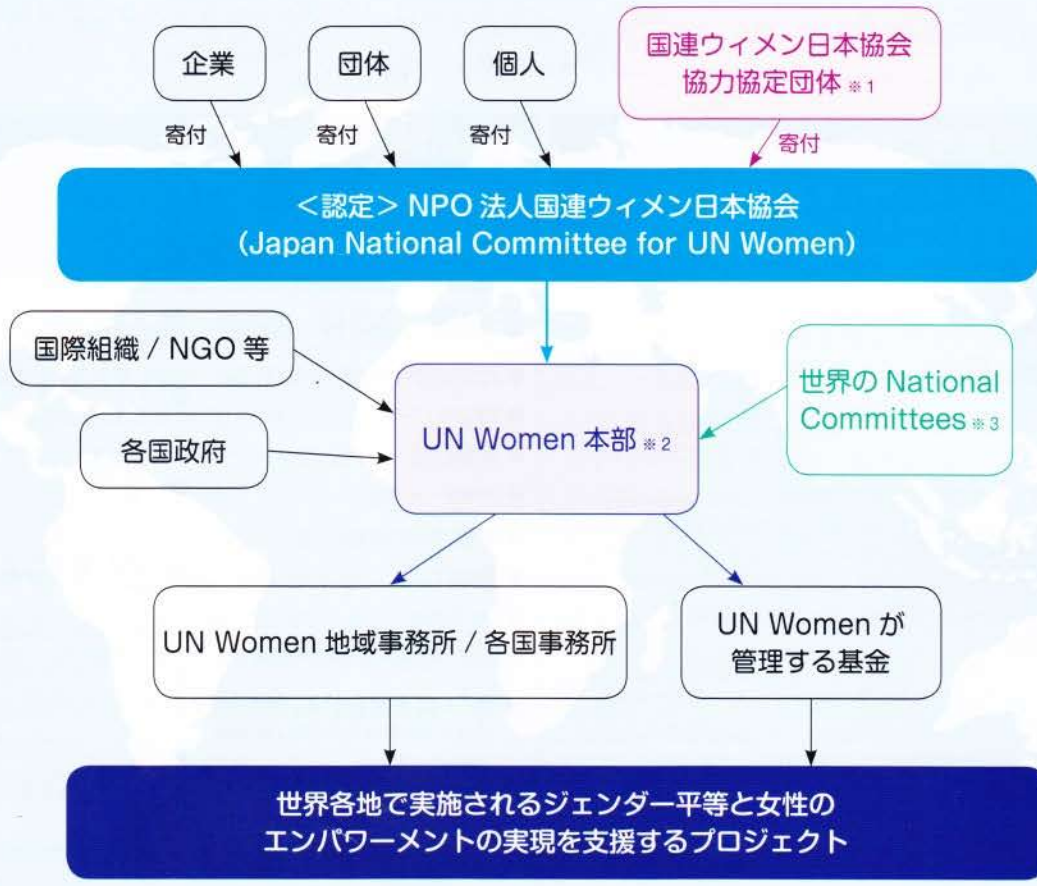
- (公財)京都市男女共同参画推進協会
- 久留米市男女平等推進センター
- 越谷ミズの会
- (公財)せんだい男女共同参画財団
- にいがた女性会議
- 浜松市男女共同参画推進協会
- (公財)佐賀県女性と生涯学習財団
- (株)グッドバンカー
- (株)電通
-  (一社)国際女性教育振興会茨城県支部
-  日本生活協同組合連合会
-  RICOH
-  フジテレビジョン
-  OnittoKAI
日本トルコ文化交流会
TURKEY JAPAN CULTURAL DIALOG SOCIETY
NPO法人トルコ文化交流会
-  国際ゾンタ姫路ゾンタクラブ

注：ロゴ掲載を許可していただいた団体のみ、ロゴを掲載させていただきました

ネパール募金にご協力いただいた方々 (2015年5月11日～2015年8月31日) 順不同

(株)TORAEL	福岡県地域婦人会連絡協議会	五十嵐康子	堂園涼子	平野和子	原ひろ子
国際婦人年連絡会	越谷ミズの会	中村信子	鷺見八重子	シンカイナオコ	森真理子
銀座コクリコ美容外科木村久理子	群馬婦人会	本田敏江	林陽子	竹田弘明	讚井暢子
(公財)21世紀職業財団	国連ウィメン日本協会北九州	山口洋子	田中由美子	阿部幸子	藤井紀代子
株式会社サンライズ	特定非営利活動法人男女共同参画こしがやとまろう	岩田喜美枝	樽谷文代	寺田有美子	シライクニコ
全国地域婦人団体連絡協議会	国連ウィメン日本協会よこはま	高岡日出子	衛藤榮津子	渡邊暁子	竹崎裕子
愛媛県連合婦人会	株式会社I.N.O.	横田洋三	望月浪江	濱口伸子	高橋由美
ユニフェムサガドウコウカイ	(公財)横浜市男女共同参画推進協会	原博子	本山信二郎	高橋克子	岩城淳子
国連ウィメン日本協会東京	ボルシェジャパン(株)	酒井真喜子	柳瀬満利子	橋本ヒロ子	

皆様からのご寄付は国連ウィメン日本協会を通し、女性のためのプロジェクトに活用されます



注：認定NPO法人への寄付、賛助会費は所得税減税の対象となります。国連ウィメン日本協会会員の会費は、同協会の事業費となります。

※1 国連ウィメン日本協会
協力協定団体

協力協定団体は、国連ウィメン日本協会に協力してUN Womenの広報と募金活動を行います。現在、東京、多摩、よこはま、堺、大阪、北九州、さくらの7団体があり、日本協会を通してUN Womenへ拠出しています。

◆ UN Womenの組織

本部	国連本部(ニューヨーク)
地域事務所	世界の5地域<アフリカ><南・中央アメリカ&カリブ海><アラブ&北アフリカ><アジア&太平洋地域><中央ヨーロッパ&中央アジア>にそれぞれ地域事務所を設置。現地の活動の中核を担います。
各国事務所	地域事務所のもとで、各国のプロジェクトを推進するカントリーオフィスが途上国に54箇所あります。
リエゾンオフィス	世界4箇所に設置され、国連のメンバー国と連携を図りUN Womenの取組を推進しています。 *アフリカンユニオン(アジスアベバ) *ヨーロッパユニオン(ブリュッセル) *ノルディックカントリーズ(コペンハーゲン) *日本事務所(東京・文京区) 2015年8月末開設

※2 UN Womenの組織

国連の女性のための機関。個別に活動していた4組織が統合され、UN Women(正式名称:ジェンダー平等と女性のエンパワーメントのための国連機関)として、地位が格上げされ規模も大きくなって、2011年1月、あらたに活動を開始しました。
なお、2015年8月末、リエゾンオフィスの日本事務所が開設されました。

※3 世界のUN Women National Committees

UN Womenを支える民間組織。UN Womenと承認協定を結ぶ1国1委員会が広報や募金活動を行いUN Womenに拠出。現在アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスなど14団体が活動しています。
この度のネパール大地震の際も、各国NCが国内募金を展開し、被災女性・少女を支援しました。



2014年10月、国連ウィメン日本協会が主催した東京グローバルNCミーティング参加者(国際文化会館にて)。

国連ウィメン日本協会 ニュースレター臨時号

発行日 2015年9月30日
発行 <認定>NPO法人国連ウィメン日本協会
事務局 〒244-0816
横浜市戸塚区上倉田町435-1
男女共同参画センター横浜内
TEL・FAX 045-869-6787
Eメール unwomenihon@adagio.ocn.ne.jp
Webpage http://www.unwomen-nc.jp//